

Searching PAJ

1/2 ページ

Document (4)

1/5

**PATENT ABSTRACTS OF JAPAN**

(11)Publication number : 2002-039392

(43)Date of publication of application : 06.02.2002

(51)Int.Cl.

F16J 15/10

(21)Application number : 2000-228139

(71)Applicant : RIKEN KEIKI CO LTD

(22)Date of filing : 28.07.2000

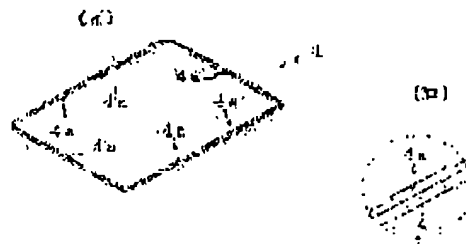
(72)Inventor : TAJIMA HIDEJI

**(54) PACKING INSTALLING STRUCTURE**

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a packing installing structure capable of uniformly loading a packing.

**SOLUTION:** A plurality of projecting portions 4a is provided on a part abutting on a member forming a groove when the packing is properly loaded, and a recess portions are formed in the receiving groove at positions corresponding to the projecting portions 4a. The extension of the packing 4 is regulated by the recess portion, thereby positioning the packing 4.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

08.09.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

Searching PAJ

2/2 ページ

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

2/5

BEST AVAILABLE COPY

3/5

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-39392

(P2002-39392A)

(43) 公開日 平成14年2月6日 (2002.2.6)

(51) Int.Cl.

F16J 15/10

識別記号

FI

F16J 15/10

テーム(参考)

T 3J040

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全3頁)

(21) 出願番号 特願2000-228139(P2000-228139)

(22) 出願日 平成12年7月28日 (2000.7.28)

(71) 出願人 000250421

理研計器株式会社

東京都板橋区小豆沢2丁目7番6号

(72) 発明者 田島 秀二

東京都板橋区小豆沢2丁目7番6号 理研  
計器株式会社内

(74) 代理人 100082588

弁理士 西川 慶治 (外1名)

Fターム(参考) 3J040 AA17 BA01 EA01 EA18 HA03

HA04

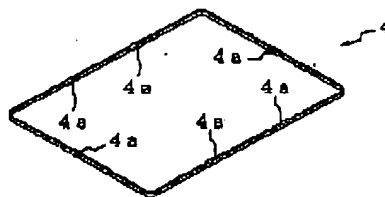
(54) 【発明の名称】 パッキンの取付け構造

(57) 【要約】

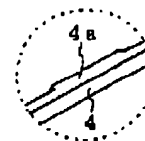
【課題】 パッキンを均一に装填することができる取付け構造を提供すること。

【解決手段】 パッキンが正規に装填されたとき、溝を形成する部材と当接する部位に複数の凸部4aを有し、また受けとなる溝には凸部4aに対応する位置に凹部が形成されていて、パッキン4が溝の凹部により伸びを規制されて位置決めされる。

(イ)



(ロ)



(2)

特開 2002-39392

1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 環状のパッキンを溝に装填して固定するパッキンの取付け構造において、前記溝に所定の間隔で複数の凹部を形成するとともに、前記パッキンが正規の状態で装填されたとき前記凹部に対向する位置に凸部を形成したパッキンの取付け構造。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、環状のパッキンを環状の受け部に固定するための構造に関する。

【0002】

【従来の技術】 部材に形成された開口に他の部材を気密的に装着する場合、開口の周囲に環状の溝を形成し、この溝よりも周長が若干短く形成された環状のパッキンを溝に嵌め込み、また他方の部材にはこのパッキンを押圧できる環状の凸部を形成することが行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、パッキンの周長と断面積との比が非常に大きく、また溝が非円形、例えば矩形である場合には、パッキンが部分的に伸びた状態で装填されてしまい、パッキンの厚みにばらつきが生じて気密性が低下するという問題がある。本発明はこのような問題に鑑みてなされたものであって、その目的とするところは、パッキンを均一に装填することができる取付け構造を提供することである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 このような問題を解消するために本発明においては、環状のパッキンを溝に装填して固定するパッキンの取付け構造において、前記溝に所定の間隔で複数の凹部を形成するとともに、前記パッキンが正規の状態で装填されたとき前記凹部に対向する位置に凸部を形成した。

【0005】

【作用】 パッキンが全長に比較して短い長さで溝の凹部により位置決めされ、伸びが規制される。

【0006】

【発明の実施の形態】 そこで以下に本発明の詳細を図示した実施例に基づいて説明する。図 1 は、本発明の取付け構造が適用されたケースの一実施例を示すものであって、ケース本体 1 には略四角形状の窓 2 が形成され、その外周にパッキン 4 を位置決め、固定する環状の溝 3 \*

\* 形成され、溝 3 の内周側の面には所要の位置に、後述する環状のパッキン 4 の凸部 4 a と契合する凹部 3 a が所定の間隔で複数形成されている。

【0007】 図 2 は、前述のパッキンの一実施例を示すものであって、溝 3 の周長よりも若干短く構成されていて、正規の形状、つまり伸びを生じることなく溝 3 に装填された状態で溝 3 の凹部 3 a に対向する位置には、凸部 4 a が複数形成されている。

【0008】 この実施例において、パッキン 4 に形成されている凸部 4 a の一つを、溝の対応する凹部 3 a に装填し、以下順に凸部 4 a が凹部 3 a に係合するように嵌め込むと、パッキン 4 は溝 3 の凹部 3 a で長さを規制されて伸びを生じることなく、溝 3 に均一な厚みで装填される。

【0009】 なお、上述の実施例においては方形の溝へのパッキンの装填を例に採って説明したが、装填時にパッキンが部分的に伸びる恐れがある形状のものに適用しても同様の作用を奏する。

【0010】

【発明の効果】 以上説明したように本発明においては、環状のパッキンを溝に装填して固定するパッキンの取付け構造において、溝に所定の間隔で複数の凹部を形成するとともに、パッキンが正規の状態で装填されたとき凹部に対向する位置に凸部を形成したので、パッキンが溝の凹部により伸びを規制されて位置決めされ、たとえ細く、伸びやすいパッキンであっても均一な厚みで装填することができる。

## 【図面の簡単な説明】

【図 1】 図 (イ)、(ロ) は、それぞれ本発明のパッキン取付け構造が適用されたケースの一実施例、及び凹部を拡大して示す図である。

【図 2】 図 (イ)、(ロ) は、それぞれ本発明のパッキン取付け構造に適したパッキン、及び凸部を拡大して示す図である。

## 【符号の説明】

- 1 ケース本体
- 2 窓
- 3 溝
- 3 a 凹部
- 4 パッキン
- 4 a 凸部

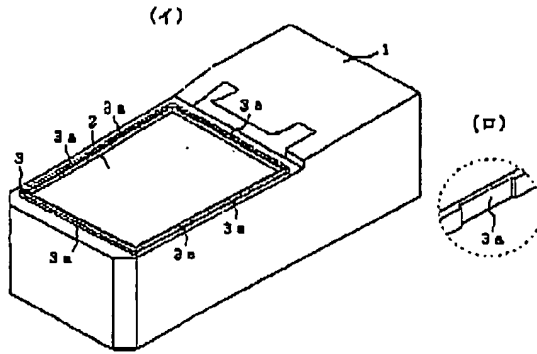
BEST AVAILABLE COPY

(3)

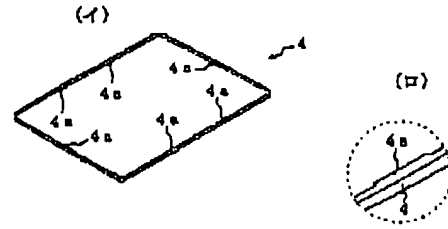
特開 2002-39392

5/5

【図 1】



【図 2】



BEST AVAILABLE COPY